

透明な涙の熱を考えると色は「次の元」の眼の

「忘れた」の意味を持たせる

信号にもして足すならば

指先で手繰った糸のは

まばゆくおもむろに色褪せる

一言で引きずり出せるあなたとの

タイムマシンのボディは

新しい傷を沈めて入浴剤が染み込むからだと

太陽を塗って叱られたこと

アップ。キムオが思い出す

水を得た魚のように群衆を抜けるのインナーカラー

をほどこいて現れた色を

分け合って異なるわたしたち

男はさかへて気がすんで

暗暁の日のスカーフの

の日の傘の影が顔色に落ちてくる真昼の待ち合わせ

短歌のぬりえ

いろおりおり

発行：2025/04/17

小石岡なつ海 @7snooze

SNSを中心に、休み休み発表しています。
2025/5/11(日) 文学フリマ東京40にて
短歌まとめ本を発行予定。



SNS等リンク

短歌のぬりえ

いろおりおり

小石岡なつ海

空白部分の印の数が音数です。
自由に色や言葉を入れて、
あなたの思う短歌に着色してお楽しみください。
もしよければ、ハッシュタグ
「#いろおりおり」
にて、仕上がりをお見せいただけたら嬉しいです。

山折り
谷折り
切り取り